

入学式式辞

今日ここに入学を許可した本科340名、編入学生1名、専攻科31名の新入生のみなさん、入学おめでとうございます。本校は教職員一同、心から学生諸君をお迎えいたします。ここまで育ててこられた保護者の皆様の今までの御苦勞に敬意を表すとともに、ご入学を心からお祝い申し上げます。

さて、入学生のみなさん、これから本校が皆さんをどんな人に育てたいと思っているかについて、お話したいと思います。

高専制度はいまから50年ほど前に日本の工業をささえる中堅技術者を育てる制度として発足しました。そして、卒業生は日本のものづくりの現場で活躍し、自動車産業や電子・情報産業などをささえる大きな原動力となってきました。日本の産業界では高専卒業生の能力は高く評価され、多くの卒業生が海外でも活躍するなかで、アジアの国々の中には日本の高専制度を取り入れたいと考えている国もあるほどです。

高専の卒業生がなぜこのように評価されるようになったのか。本校が卒業生や、就職した企業に行ってきた調査では「理数と専門の工学に関する基礎知識と自ら学修する力や勤勉さや仕事に対する責任感」が評価されています。皆さんがこれから5年間ないし7年間の勉強を通じてこうした力を身に付けていてください。ただしこれらはただ単に授業だけで身につくものではありません。課外活動や学生会活動などを通じた仲間たちとのいろいろな取り組みが皆さんの成長の糧となります。本校ではどんなカリキュラムを通じて、どんな人材を育てていきたいかをカリキュラム・ポリシーやディプロマポリシーで明らかにしていますので、皆さんの手元に配られる学生ハンドブックを見てください。

東京都立産業技術高等専門学校の使命、ミッションはものづくりスペシャリストを育てることにあります。ものづくりスペシャリストとは世界のものづくり産業を中心的にささえる技術者のことです。技術者教育に関する世界的機関の一つが技術者についてこう表現しています。

——技術者とは、数学や科学を駆使して、持続可能な社会を実現するために工学的な知識を活用して人類のために働く人々である。——

この壮大な宇宙の歴史の中で、人類はこの地球上でたかだか数千年の歴史しか持っていません。

持続可能な社会の実現に寄与する技術者になりましょう。

そこで、皆さんにどんなことに取り組んでほしいかをお話します。

電子機器や情報科学の進歩は、人々の生活を豊かにすることに貢献してきました。今後、我々の生活の中に AI、人工知能はますます入り込んでくるでしょう。しかし AI は友情とか愛情といった曖昧な感情は数値化できないために理解することは苦手です。一方、人間はこうしたあいまいな中から先を見出してゆくことが得意です。機械や人工的に作られたインテリジェンスと人間の生きた知性が違うのは、そうした 100% 確かではないものも追いかけていくことができることだということです。

皆さんの多くの方はスマートフォンを持ち活用していると思います。しかし、スマホの画面から得られる情報は全てではありません。画面から顔を上げて、君自身の目と耳と鼻とを使って友達や周りにあるものを見ることを大切にしてください。

優れたモノづくりの技術者は、人間の持つ感覚的なもの、いわゆる五感とよばれるものをとても大事にします。品川キャンパスの 2 階正面に立派な銘板がかかっています。そこには大きく「音・面・道」と書かれています。本校の前身校の初代校長で、戦前の技術者教育に大きな足跡をのこされた清家正先生の残された言葉で、技術者は自分の耳で音を聞き、自分の目で物を見て自分の手で触れて、判断することが大切だとおっしゃっています。本校でのモノづくりのスタートはこの言葉に凝縮されます。

さて、今年には新たな元号も決まり、来年に予定されている東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催まで 500 日を切りました。名称でもわかるように、現在はオリンピックとパラリンピックは不可分なものとして位置付けられていますが、パラリンピックの名称は、実は 1964 年の東京オリンピックの年に、オリンピックとは別に引き続いて開催された障害を持つ人々のための国際大会につけられた名称です。その共通の精神は、オリンピック・ムーブメントと呼ばれる理念の中におさめられていますが、フェアプレイ、持続可能な社会の発展、差別の撤廃です。そしてこの理念の高さゆえに、オリンピックが人々の中で特別なものとして認められているのです。オリンピック・パラリンピックにむけたいろいろな活動を通じて、君たちの周囲のいろいろな環境、いろいろなハンデキャップを持つ人たちと共に社会を作ってゆける人になってください。

産業技術高専は教職員一同全力で君たちの成長を手助けします。5年後あるいは7年後の君たちの成長した姿をととても楽しみにしています。
元気で頑張ってください。

最後に、本日の入学式にご多忙中にもかかわらず、ご列席いただいた来賓の皆様に、厚く御礼を申し上げます
以上をもって式辞といたします。

平成31年4月3日

東京都立産業技術高等専門学校

校長 田原正夫